

令和4年1学期終業式 式辞

皆さん、おはようございます。校長の山本です。

今度こそは皆さんの姿を前にして、式を行いたいと思っていましたが、ここ数日、新たな感染の大きな波が来ていることもあり、残念ながら今回も放送での終業式となりました。

明日から夏休みが始まりますが、皆さんも感染防止には十分に気を付けて、クラブや受験勉強などに取り組んでほしいと思います。

さて、令和4年度も気が付けばあっという間の4カ月でした。今年も36期生となる1年生が入学し、また新しい1年がスタートしていますが、今年度、私にとってとてもうれしいことがあります。

それは、生徒の皆さんから「おはようございます」「さようなら」といった挨拶の言葉がたくさん聞こえてくるようになったことです。

挨拶は集団生活を営む「人間」という種が、互いにコミュニケーションを図る第一歩であり、最も大切なものであると思っています。たった数個の音を並べただけのこの言葉が、実はコンピューターやAIがいくら進歩しても、いまだに人間にしかできない活動のひとつなのです。

しかし、中にはこの挨拶が苦手な人もいることでしょう。そんな苦手な人ほど、ぜひチャレンジをしてみてください。小さくてもいいので「おはようございます」と声に出してみる。それがだめなら頭を軽く下げてみるだけでもいいと思います。ぜひ、いろいろな人とコミュニケーションをとることを、恐れず、試みてほしいと思います。

明日から始まる夏休みは、高校生の皆さんにとっては、本当にとっても貴重な時間となります。一人ひとりが、この潤沢にある時間を使って何をするのか、ぜひよく考えてください。2学期の始業式で、皆さんに何をしていたのかを訪ねようかと思っています。この1か月何をしていたのか、思い出せないような、そんなもったいない日々にはしないようにしましょう。

特に、受験を控えた3年生の皆さん。一度本気で勉強に取り組んでみてください。本気で勉強に取り組むのは、人生においてはこれで最後になるのではないかと思います。やって、やって、やり切った後に残る達成感をぜひ味わってほしいと思います。

このような濃い時間を過ごして得た自信は、その後の人生において間違いなく貴重な宝物になると思います。

皆さんがこの夏を超えて、一回り大きく、たくましく成長した姿を見せてくれることを楽しみにしています。

それでは、良い夏休みを過ごしてください。